

アイヌ民族文化研究センターだより NO.37

2012年9月

- ・山田秀三文庫の資料から 網走市の大曲 1
- ・企画展「アイヌ語地名を歩く」
「2012・知床/斜里」「2013・網走/オホーツク」 2
- ・「ボン カンピソシ」の写真から[6] 仮製5万分の1地形図 ... 3
- ・「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」を開設しました ... 5
- ・寄贈を受けた資料 6 ・お知らせ 8

【企画展（共催）】

アイヌ語地名を歩く

ー山田秀三の地名研究からー

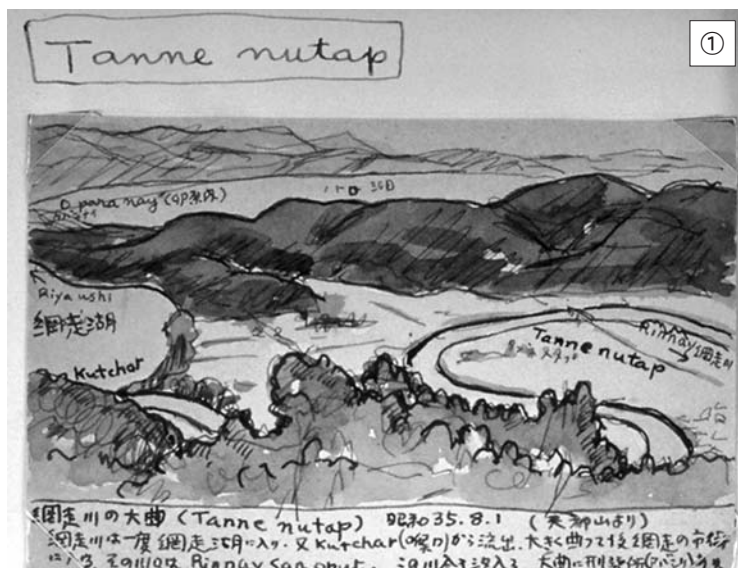
今冬、網走市で開催します！

2013年2月2日(土)～4月7日(日)

北海道立北方民族博物館

詳しくは2ページ及び8ページをご覧ください。

山田秀三文庫の資料から 網走市の大曲 (YF0147)

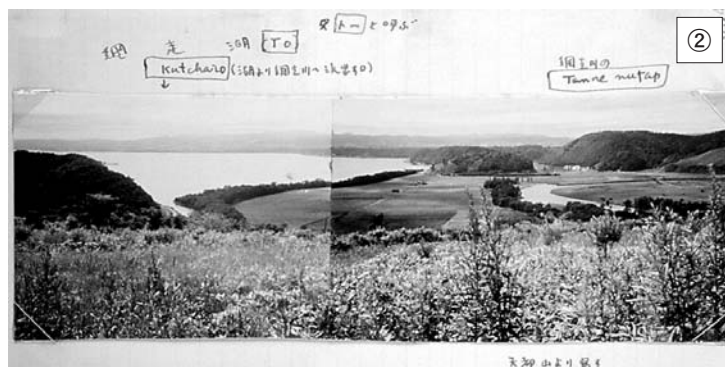


①

①のスケッチは、アイヌ語地名研究者の山田秀三氏が、網走市の天都山（現在では北海道立北方民族博物館や展望台、オホーツク流氷館などが建っている山です）から見た、網走市の大曲付近のようすを描いたスケッチです。②の写真は、同じ景色を山田氏が撮影した写真です（パノラマのように、2枚の写真を貼り合わせてあります）。

これらは、山田氏が1960（昭和35）年に網走市を訪れたときの、地名調査の記録のファイル『釧路 網走 斜里 記』（資料番号YF0147）の中に含まれているものです。③の地図も、このファイルにあるもので、山田氏が網走付近のようすを描いたものです。○で囲んだところが天都山で、①と②は、そこから矢印の方向を望んだものです。

知里真志保氏の『地名アイヌ語小辞典』（楡書房、1956年）や『網走市史』（網走市、1958年）などの文献によれば、網走市の大曲のあたりは、昔は「タンネ・ヌタブ」と呼ばれており、「タンネ（長い）」「ヌタブ（川の湾曲部内の土地）」を意味すると言われています。山田氏は、そのような地名を実際に確かめるべく、山の上からこの地形を見てみたのではないかと思います。スケッチの上部にはタイトルふうに「Tanne nutap」と記されており、スケッチの左側の部分、網走川が大きく屈曲している内側に、同じく「Tanne nutap」と書き込まれています。



②



③

1960年代頃までの山田氏の地名調査記録には、①のようなスケッチが多く見られます。カラー写真が簡単には撮影できなかった時代に、山田氏の目に映った土地のようすや風景を記録するために、このようなスケッチを多用したものと思われます。また、②の写真と比べていただければわかるとおり、スケッチには、写真では捉えにくい地形を描くことができるという利点もあったのではないかと思います。

このようなスケッチは、しばしば、官製葉書の裏面に描かれています。表の宛名は妻の山田總子氏宛になっていて、旅先からの、短い中にも気持ちの込められた文が綴られています。山田氏は、地名調査に訪れた先で、何枚もの葉書に地形をスケッチして、便りを添えて總子氏に送り、戻ってからそれを地名調査の記録に綴じていったのです。

網走川を遡ると、網走刑務所の南の処で大きく屈曲して袋地を囲んでいて、この辺の地名は大曲である。知里博士小辞典〔『地名アイヌ語小辞典』〕はそこを「原名はタンネ・ヌタブ tanne-nutap（長い・ヌタブ）で、ヌタブとはそのような湾曲内の土地を云うのである。」と書いた。

ヌタブという語は、土地により人により意味が違って解に苦しいことが多いが、ここは川曲がりの中の袋地を呼んでいた例である。

山田秀三『北海道の地名』（草風館、2000年）より

〔企画展〕

「アイヌ語地名を歩く―山田秀三の地名研究から―2012年夏・斜里／知床」を開催しました

当研究センターが所蔵する「山田秀三^{ひでぞう}文庫」の資料を紹介する「アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から 2012夏・斜里／知床」を、斜里町立知床博物館との共催で、7月7日～8月26日に開催しました。

会期中は、計3782名ものご来場をいただき、大変ありがとうございました。

企画展会場のようす



また、企画展の関連事業として、7月7日に当センター職員による展示解説講座を、7月14日に谷本晃久氏・出利葉浩司氏の2名を講師に迎えての講演会を、それぞれ開催しました。講座には計28名、講演会には計54名のご来場をいただき、終了後のアンケートにもご協力いただきました。ありがとうございました。

●展示解説講座「山田秀三氏のアイヌ語地名調査について―知床の地名調査資料の紹介をととして―」

7月7日(土) 16:30～17:30

斜里町立知床博物館

講師：当研究センター職員



●講演会「斜里アイヌの歴史と文化」

7月14日(土) 17:30～20:30 斜里町立知床博物館

・「近世シャリのアイヌ社会―漁場の記録を中心に―」

講師：谷本 晃久氏(北海道大学准教授)



・「19世紀末の斜里アイヌの暮らし

―ヒッチコックの記録をととして―」

講師：出利葉 浩司氏(北海道開拓記念館事業部長)



〔企画展〕

「アイヌ語地名を歩く―山田秀三の地名研究から―2013年冬・網走／オホーツク」を開催します

上記「2012年夏」の企画展に続き、今年度後半は「2013年冬」として、網走市を中心とする地域の資料を紹介する展示を、北海道立北方民族博物館との共催で開催します。多くのご来場をお待ちしております。

会場：北海道立北方民族博物館(網走市潮見309-1)

※企画展は入場無料ですが、同館の常設展示の観覧には観覧料が必要です。

期間：2013年2月2日(土)～4月7日(日)

9:30～16:30

※展示解説会(講座)は2月2日(土)

休館日：月曜日(2月11日は開館)、2月12日(火)

また、企画展関連事業として次の講演会と講座を開催します。会場は、いずれも北方民族博物館です。

●講演会「(仮)アイヌ文化と「環境」」

2月9日(土) 13:30～15:00

講師：本田 優子氏(札幌大学教授)

●講座「アイヌ語地名研究と山田秀三」

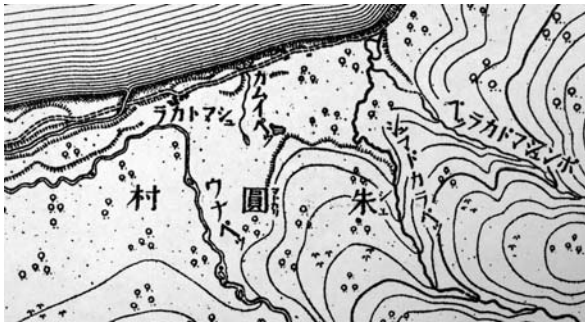
2月16日(土) 13:30～15:30

講師：伊藤 せいち氏(アイヌ語地名研究会)、
研究センター職員

詳細は、追って当センターのホームページでお知らせします。

『ボン カンピソシ』の写真から〔6〕

仮製 5 万分の 1 地形図 (『ボン カンピソシ 9 地名』掲載)



上の写真は、アイヌ文化紹介小冊子『ボン カンピソシ 9 地名』に掲載した、1897（明治30）年製版の、現在の北海道斜里町朱円・峰浜付近の地形図です。

小冊子では、この地図について「陸地測量部発行」と書きました。「陸地測量部」というのは陸軍陸地測量部のことで、現在の地形図の測量・発行を行っている国土交通省国土地理院の前身にあたります。この地形図は、陸地測量部が1896（明治29）年から1898（明治31）年にかけて発行したもので、近代的な測量技術により、全道をカバーした、縮尺5万分の1の地形図として最初のものとされています。発行者が陸地測量部であったこと、製版の方法が「仮製版」と呼ばれるものであったことから、「陸測五万図」「仮製五万図」などと呼ばれています。

* * * * *

この地形図は、等高線などには大雑把なところがあるものの、当時の地形のようすをよく伝えており、現在の地形図と重ねて比較できることから、地域の歴史や地形のうつりかわりなどを調べる資料として多く用いられてきました。

特に、地名を調べる資料としては、当時の地名がたくさん書かれていて、しかも、多くの地域においてアイヌが測量の案内をつとめたとされていることから、当時のアイヌが呼んでいた地名に比較的近いかたちで記録されている可能性が高く、アイヌ語に由来する地名を調べる上で極めて重要な資料と位置付けられてきました。アイヌ語地名研究者の山田秀三氏も、自身の地名研究の手法を説明する際に、「仮製五万図という重宝なものがあって、たくさ

んのアイヌ語地名が仮名書きで書いてあり、またその記入の位置がなかなかよくできている。それを今の五万分図の上に移していくのが始まり。」と書いています¹。

* * * * *

仮製五万図のさらなる特徴は、地名の多くがカタカナで記入されていることばかりでなく、その表記のされ方にあります。

昔の文書では、日本語のヨコ書きは、右から左に書きました。上の地図でも、真ん中にある「^{シュマドカリ}朱圓（円）村」の文字は、右から左に並んでいます。右端にある川名「ボンシュマドカラペツ」も、右から左に書かれています。ここで注意していただきたいのは、「シュ」と「ペツ」です。この二箇所だけ、他の文字と並び方が違います。これは誤植ではなく、「シュ」「ペツ」で一つの音であることを示そうとした表記だと思われます。（「シュ」はアイヌ語suma=石の「su」、「ペツ」はアイヌ語pet=川だと思います。）仮製五万図には他にも、「チランケウシ」の「チ」など、同様の表記がたくさんあるので、おそらく、この地図でアイヌ語に由来する地名をカナ表記するときの決まりごとになっていたと考えられます。

アイヌ語には、日本語の五十音と似た音もありますが、日本語には無い音もいろいろあります。日本語は、kやsなどの子音には必ず母音が付いて、カキクケコ・サシスセソのようになりますが、アイヌ語には、後ろに母音が続かない、「k」「p」「s」「t」のような音があるのです。地名によく出てくる語の中にも、上の「pet ペツ（川）」のほか、「kes ケシ（端）」「put ブツ（口）」など、たくさん例があります。仮製五万図では、こうしたアイヌ語の発音をカタカナで表すために、不十分ながらも一定の工夫が施されていたと思われます。このことによって、この地形図は、当時の地名の呼ばれ方を知る貴重な手がかりだとされているのです。

1 「あとがき—私の地名調査手順概説」『アイヌ語地名を歩く』（北海道新聞社、1986年）

「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」を開設しました！

前号の『研究センターだより』でお知らせした「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」について、今年7月から運用を開始しました。そこで今回は、この「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」で開設した、アイヌ語音声資料の検索・視聴機能と、「アイヌ語を知る／聞いてみる」コーナーについて紹介します。

■ まずは、「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」のトップページにお越しください！

「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」のトップページのアドレス (URL) は、

<http://ainugo.ainu-center.pref.hokkaido.jp/top.htm>

です。当研究センターのホームページにも「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」と表示したリンクを設けます。また、インターネットエンジンの「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」でも検索できると思います。

トップページは、右のような画面になっており、「アイヌ語音声資料の検索・視聴システム」と「アイヌ語を知る／聞いてみる」のそれぞれの入り口を設けています。



この画面は作成途中のものです。実際の画面はデザインなどを変更することあります。

■ 「アイヌ語音声資料の検索・視聴システム」を使ってみてください。

アイヌ語音声資料の検索・視聴システムは、「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」の中心になる機能です。当研究センターをはじめ、北海道道立図書館、北海道開拓記念館が所蔵するアイヌ語の音声資料を一元的に検索するとともに、インターネット公開が可能になったものについてはインターネット上で実際のアイヌ語を聞けるようにすることを目指しています。

① 「検索・視聴システム」のトップページ

上記の「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」のトップページから「アイヌ語音声資料の検索・視聴システム」に進むと、下の画面が開きます。これが、この検索・視聴システムのトップページです。

② 資料をさがす

検索システムのトップページでは、資料のタイトル、語り手の氏名などのほか、採録された地域や年代、さらには資料の「あらまし」「もくじ」の説明文の中の任意の語を対象として、「こういう内容の口承文芸を聞きたい」「この地域の伝承を聞きたい」といった目的に応じて資料を探すことができます。

下の画面は、「地域」として「登別市」を選択した場合に得られた検索結果の一覧表示画面です。

※検索結果は、一画面に10件まで表示されます。

※ちなみに、検索語を何も入力しないで「検索」をクリックすると、公開しているすべての資料が表示されます。

③ 資料の「あらまし」を見る

②で得られた資料の一覧の中から、詳しく見たいものを選んでクリックすると、その資料のあらましを紹介した画面が表示されます。



ここでは、資料の語り手やおおよその内容、採録地、採録年月日などの基本的な情報のほか、原資料の状態やその外観の写真、原資料のケースなどに書き込まれていたメモなどについても順次掲載するようにしていきます。



レコード資料の外観写真。(画像はサンプルです。実際の資料のデータとは一致しません。)

④ 資料の「もくじ」を見る

③の画面の「もくじを見る」をクリックすると、その資料の内容をおおよその目次で区切り、それぞれの目次ごとに略内容などを説明した、「もくじ」画面が表示されます。



⑤ 資料を聞いてみてください

音声インターネット上で公開している資料については、④の画面の目次の中の聞きたい箇所をクリックすると、その部分の音声聞くことができます。また、「この資料を通してすべて聞く」をクリックすると、資料全体の音声聞くことができます。

※インターネット上の音声はmp3ファイルで提供しています。

※インターネット上で音声を公開していないものも含めて、この検索システムに掲載している全ての資料については、当研究センターの資料閲覧コーナーで音声を聞くことができます。

■「アイヌ語を知る／聞いてみる」で、アイヌ語の世界に触れてみてください。

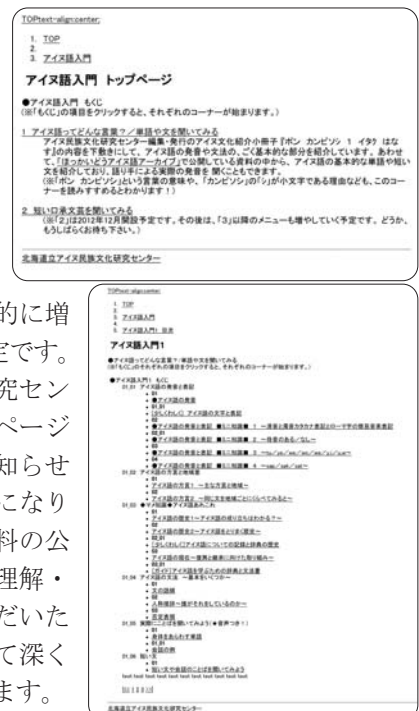
「そもそも、アイヌ語ってどんな言葉?」「どんな発音?」「とにかく、まず簡単な言葉や文を聞いてみたい」といった場合は、こちらの、「アイヌ語入門」のページをご活用ください。

上に紹介した検索・視聴システムは、資料を探し・視聴するためのものですが、こちらの「アイヌ語入門」は、まずアイヌ語そのものについての、基本的なことがらを知っていただき、実際にいろいろな単語や文、物語などを聞くを通して、アイヌ語に親しんでいただくことを目指しています。

「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」のトップページから「アイヌ語入門」をクリックして進んでみてください。

現在は「アイヌ語入門1 アイヌ語ってどんな言葉?」まで公開中です。ここでは、アイヌ語の発音のあらましや、現在用いられている表記についての説明のほか、いろいろな単語の発音などを聞くことができます。

このページは今後どんどん内容を充実させていく予定です。また、「検索・視聴システム」で公開する資料も、今後段階的に増やしていく予定です。詳しくは当研究センターのホームページなどで随時お知らせしますが、資料の公開に当たりご理解・ご協力をいただいた皆様に、改めて深くお礼申し上げます。



この画面は作成途中のものです。実際の画面はデザインなどを変更することあります。

寄贈を受けた資料
(2012年3月～2012年9月)

発行者名の50音順に資料名を掲載しています。資料を寄贈していただいた方々・機関にお礼を申し上げます。

アーツアンドクラフツ

・季刊 やま かわ うみ Vol.4

愛知県公文書館

・愛知県公文書館だより 第16号

愛知県立大学多文化共生研究所

・共生の文化研究 6、7

アイヌ語地名研究会

・アイヌ語地名研究会会報 第44号、45号

アイヌの智慧でシロイ再生プロジェクト

・アイヌの智慧とともに〔DVD〕

・Living the Ainu Tradition

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構

・財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成事業案内 平成24年度版

・アイヌブリ アイヌの心をつなぐ

・平成23年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.4

・平成24年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.1、Vol.2

・平成24年度青少年国際文化交流研修事業参加者募集案内

・アイヌ文化普及事業 博物館等アイヌ資料展示・公開等助成事業案内 平成24年度版
・アイヌブリ アイヌの心をつなぐ〔DVD〕

青森県

・青森県史叢書 近現代の美術家

・青森県史 資料編 中世3 北奥関係史料

青森県立郷土館

・青森県立郷土館報 通巻39号 (2012年度)

・青森県立郷土館研究紀要 第36号

秋田県公文書館

・秋田県公文書館所蔵古文書目録第8集 資料群目録3

・佐竹北家文書・佐竹西家文書目録 (秋田藩関係文書Ⅲ)

・秋田県公文書館研究紀要 第18号

・秋田県公文書館だより 第27号

秋田達男

・民族の復権：アイヌ連帯と教育の軌跡

・少数民族「問題」を考える：アイヌとして生きる

旭川市

・旭川市史 第5巻 年表・索引

石井正己

・児童文学と昔話

いしかり砂丘の風資料館

・エスチュアリー いしかり砂丘の風資料館だより No.45、No.4

夷酋列像再発見事業実行委員会

・夷酋列像再発見シンポジウム〔プログラム〕

伊能忠敬記念館

・伊能忠敬記念館年報 第13号 平成22年度

岩波書店

・忘れられた日本の文化：撮りつづけて三〇年 岩波ブックレット193

・世界と日本の先住民族 岩波ブックレット281

・先住民とともに生きる 岩波ブックレット350

ウィルタ協会

・資料館ジャック・ドフニ展示作品集

浦幌町立博物館

・浦幌町博物館年報 第12号

・浦幌町博物館紀要 第12号

恵庭市教育委員会

・ユカンボシE2遺跡Ⅲ、ユカンボシE11遺跡Ⅲ

・ユカンボシE11遺跡Ⅳ

恵庭市郷土資料館

・恵庭市郷土資料館年報 17 平成22年度版・23年度・版

大分県立歴史博物館

・おおいた歴博 No.33

・大分県立歴史博物館 研究紀要 13

大阪人権博物館

・博物館の展示表象 差別・異文化・地域

尾崎友香

・アイヌ語カルタ ウコヌチャクテクアンロ アイヌ語カルタで楽しく遊ぶ 沙流地方の植物

小樽市総合博物館

・小樽市総合博物館紀要 第25号

帯広百年記念館

・帯広百年記念館紀要 第30号

オホーツク民衆史講座実行委員会

・語り出した民衆の記録：オホーツク民衆史

学習院大学史料館

・ミュージアム・レター No.19

・学習院大学史料館紀要 第18号

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻

・学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究年報 第1号

神奈川大学日本常民文化研究所

・歴史と民俗28 神奈川大学日本常民文化研究所論集28

・民具マンスリー 第44巻第11号～第44巻第12号、第45巻第1号～第45巻第3号

上士幌町ひがし大雪博物館

・上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 第34号

樺太アイヌ協会

・カラフトアイヌの稚咲内移住に関する研究調査 (第二次)：概報2 サハリン・稚咲内調査分

関東ウタリ会

・アイヌからの呼びかけ

九州歴史資料館

・九州歴史資料館年報 平成23年度

・九歴だより No.35

株式会社金曜日

・週刊金曜日 第20巻第23号通巻第915号

・週刊金曜日 第20巻第26号通巻第918号

釧路アイヌ文化懇話会

・釧路アイヌ文化懇話会創立20周年記念誌 二十年のあゆみ

釧路公立大学

・釧路公立大学紀要 人文・自然科学研究 第24号

釧路市立博物館

・釧路市立博物館館報 No.406～No.409

・釧路市立博物館紀要 第34輯

熊谷カネ

・マタギ 岡本総吉：様似に生きたアイヌの記録

群馬県立文書館

・群馬県立文書館 文書館だより 第49号

元興寺文化財研究所

・千島列島シュムシユ島で収集された皮革製子供服の自然科学的分析について〔抜刷〕講談社

・手塚治虫漫画全集97～100 シュマリ 1～4

高知県牧野記念財団

・高知県立牧野植物園だより No.49、No.50

弘南堂書店

・北方関係を主にした 弘南堂古書目録 第52号

・2012年国際稀覯本フェア 弘南堂書店出品目録

神戸市立博物館

・博物館だより No.101

コープさっぽろ ちょこっと編集部

・Cho-co-tto ちょこっと 第2号

国際連合広報センター

・国際人権規約、世界人権宣言

国立民族学博物館

・月刊みんぱく 第36巻第3号～第36巻第8号 通巻第419号

・民博通信 No.136、No.137

・国立民族学博物館研究報告 第36巻第3号、第36巻4号

・MINPAKU Anthropology Newsletter No.34

国立歴史民俗博物館

・国立歴史民俗博物館研究報告 第168集

・マンローコレクション研究 写真・映画・文書を中心に

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部

・札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要 第42号

札幌学院大学

・札幌学院大学学芸員課程 年報25

札幌市教育委員会

・アイヌの歴史・文化等に関する資料2 札幌市立学校教員 (幼・小・中・高) のアイヌに関するアンケート 集計結果とその分析

札幌市公園緑化協会

・札幌市豊平川サケ科学館研究報告 (2011年度)

札幌市総務局文化資料室

・札幌市文化資料室研究紀要 公文書館への道 第4号

札幌市文化資料室

・文化資料室ニュース 第16号

NPO法人さっぽろ自由学校「遊」

・アイヌ民族の権利回復と持続可能な地域づくり オホーツク・紋別におけるESDの取り組み 2009-2011

札幌大学附属総合研究所

・札幌大学附属総合研究所 研究叢書2 北海道と道州制 歴史と現状・国際比較

沙流川歴史館

・沙流川歴史館だより No.44、No.45

・沙流川歴史観年報 第13号

標津町教育委員会

・史跡 標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 平成22年度

・史跡 標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 平成23年度

・史跡 標津遺跡群 天然記念物 標津湿原 保存整備事業報告書

標津町教育委員会

・滋賀大学経済学部附属史料館研究紀要 第45号

清水町教育委員会

・清水町 上清水5遺跡〔CD〕

・御影平和遺跡

斜里町立知床博物館

・知床博物館第33回特別展図録 発掘されたウトロ遺跡群

・知床博物館研究報告 第33集

白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室

・アイヌ語白老方言辞典

人権教育啓発推進センター

・人権ポケットブック12 アイヌの人々と人権

世界人権問題研究センター

・人権から見た近代京都 人権問題研究叢書5

・GLOBE No.69、No.70

・人権問題研究叢書 京都のなかの渡来文化

・世界人権問題研究センター研究紀要 第17号

・2011年度 世界人権問題研究センター年報

・2011年度 世界人権問題研究センター共同研究

1992年人権ウィークIN北海道実行委員会

・シンポジウム 国際先住民族年とアイヌ民族の人権 記録集

先住民族の10年市民連絡会

・先住民族の10年News 第182号～第186号

創価大学社会学会

・ソシオロジカ 第36巻第1・2号

高倉新一郎

・北海道史の歴史：主要文献とその著者たち

伊達市噴火湾文化研究所

・Newsletter 噴火湾文化 Vol.16

丹波節郎翁を顕彰する会

・丹波節郎翁の足跡

千歳市

・『新千歳市史』機関誌 志古津 第15号

地名町教育委員会

・江戸期の奄美諸島：「琉球」から「薩摩」へ

ティムカウンセリング研究所

・ティムカウンセリング研究所紀要 第6号

東京学芸大学

・平成23年度重点研究費報告書 グローバリズムの中の民俗学

東京都歴史文化財団・東京都江戸東京博物館

・江戸東京博物館NEWS Vol.77、Vol.78

東北大学東北アジア研究センター

・『達韓爾語詞彙』蒙古文語索引 東北アジア研究センター叢書 第46号

・『元朝秘史』傍訳漢語索引 東北アジア研究センター叢書 第47号

・東北アジア研究 16号

・東北大学東北アジア研究センター ニューズレター CNEAS 第52号、第53号

東北芸術工科大学東北文化研究センター

・東北文化友の会会報 まんだら 第51号

東北福祉大学 芹沢銈助美術工芸館

・東北福祉大学 芹沢銈助美術工芸館 年報3

とかちエテケカンパの会

- ・とかちエテケカンパの会だより 第10号 2011年度

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

- ・徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示解説
- ・徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示解説 第2集 地図に見る鳥居龍蔵の足跡
- ・徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 開館一周年記念企画展 鳥居龍蔵の見た台湾

苫小牧駒澤大学

- ・苫小牧駒澤大学紀要 第23号
- ・苫小牧駒澤大学紀要 第24号
- ・苫小牧駒澤大学紀要 第25号

苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所

- ・環太平洋・アイヌ文化研究 第9号

苫小牧市博物館

- ・苫小牧市博物館 館報 第9号(平成22年度)
- ・苫小牧市博物館だより No. 61

長野県立歴史館

- ・長野県立歴史館研究紀要 第18号
- ・長野県立歴史館収蔵文書目録 11
- ・平成24年度 春季企画展 長野県の満州移民：三つの大日向をたどる
- ・長野県立歴史館だより Vol. 71

名寄市北国博物館

- ・北国研究集録 第13号

奈良県立民俗博物館

- ・奈良県立民俗博物館だより Vol. 38 Vol. 1

南山大学人類学博物館

- ・南山大学人類学博物館紀要 第30号

新潟県立文書館

- ・新潟県立文書館年報 第20号

日本共産党北海道委員会

- ・アイヌ系住民の生活と権利を守るために

日本民芸協会

- ・民芸 713

沼津市明治史料館

- ・沼津市明治史料館通信 通巻105号～通巻108号

ノーザンクロス

- ・カイ Vol. 15
- ・カイ Vol. 16

登別市教育委員会

- ・小学社会科副読本 のぼりべつ

市立函館博物館

- ・市立函館博物館 平成22年度特別展 展示図録 縄文の至宝：世界遺産をめざす15遺跡と土偶
- ・市立函館博物館館報サラニップ No. 51
- ・市立函館博物館研究紀要 第22号

反差別国際運動日本委員会

- ・IMADR-JC通信 No. 169、No. 170

原田勉

- ・猿田彦とアイヌ族と奈良盆地の情勢

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室

- ・阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 資料室ニュース

ビッグイシュー日本

- ・ビッグイシュー日本版 第197号

美幌町郷土史研究会

- ・ペポロベツ 第1集

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

- ・2010年度 平取町立二風谷アイヌ文化博物館 年報

広島市公文書館

- ・広島市公文書館紀要 第25号

仏教大学仏教学部

- ・〔仏教大学〕仏教学部論集 第96号

仏教大学文学部

- ・〔仏教大学〕文学部論集 第96号

仏教大学歴史学部

- ・〔仏教大学〕歴史学部論集 第2号

船橋市郷土資料館

- ・船橋市郷土資料館 資料館だより 第98号、第99号

別海町郷土資料館

- ・別海町郷土資料館所蔵資料目録 第1集

加賀家文書等資料目録Ⅰ**北海学園大学学術研究会**

- ・北海学園大学学術論集 第150号、第151号

北海道開拓記念館

- ・北海道開拓記念館研究紀要 第40号
- ・北海道開拓記念館要覧 平成23年度
- ・北海道開拓記念館だより Vol. 42 No. 1、No. 2 (通巻215、216号)

- ・北海道開拓記念館第69回特別展 「アンモナイト展」

北海道環境財団、北海道地球温暖化防止活動推進センター

- ・〔北海道環境財団〕2011年度活動報告書
- 北海道環境生活部くらし安全局道民活動文化振興課

- ・カックウと学ぶ 北の縄文世界

北海道教育大学

- ・くらしのなかにおけるアイヌ衣服についての実証的研究

北海道高等学校教職員組合

- ・続・生徒とともに考える日本の少数民族：教育実践上の手引き

北海道ジェイ・アール・エージェンシー

- ・The JR Hokkaido No. 290～No. 294

北海道新聞社

- ・北の土偶 縄文の祈りと心

北海道大学アイヌ・先住民研究センター

- ・北海道アイヌ民族生活実態調査報その2 2009年北海道アイヌ民族生活実態調査報告 現在アイヌの生活の歩みと意識の変容
- ・新しいアイヌ史の構築 先史編 古代編 中世編 「新しいアイヌ史の構築」プロジェクト報告書
- ・先住民文化遺産とツーリズム：アイヌ民族における
- ・文化遺産活用の理論と実践
- ・音声ガイドシステム試行版 ガイドンスビデオ〔DVD〕
- ・西平ウメ伝承 トンコリ楽曲集
- ・世界のなかのアイヌ・アート 先住民民族アート・プロジェクト報告書
- ・北海道大学アイヌ・先住民研究センターニューズレター 第2号

北海道大学総合博物館

- ・北海道大学総合博物館ニュース 第23号

北海道大学大学院文学研究科

- ・北方言語研究 第2号

北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

- ・北方人文研究 第5号

北海道大学大学文書館

- ・北海道大学大学文書館報 第7号

北海道文化財保護協会

- ・文化情報 第331号、第332号

北海道農政部食の安全推進局技術普及課、**北海道立総合研究機構 農業研究本部**

- ・平成24年 農業新技術発表会要旨

北海道埋蔵文化財センター

- ・北斗市 館野遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第282集 第1分冊～第6分冊
 - ・北斗市 館野2遺跡 A地区・B地区 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第283集
 - ・千歳市祝梅川小野遺跡(1) 梅川1遺跡(1) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第285集
 - ・鶴居村 下幌呂1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第287集
 - ・富良野市 中五区1遺跡 中五区2遺跡 中五区3遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第288集
 - ・下川町北町J遺跡(2) 北海道埋蔵文化財研究センター調査報告書 第289集
 - ・松前町 福山城下町遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第290集
 - ・更別村 香川遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第291集
 - ・木古内町 大平4遺跡(2)・蛇内2遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第292集
 - ・木古内町 木古内2遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書293
 - ・木古内町 札蒔5遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書294
 - ・調査年報24 平成23年度
 - ・北海道埋蔵文化財センター 年報13 平成23(2011)年度
- 北海道民間教育研究団体連絡協議会**
- ・民教 第72号
- 北海道立近代美術館ほか**
- ・蝦夷の風俗画：小玉貞良から平澤屏山まで
- 北海道立衛生研究所**
- ・北海道立衛生研究所報 No. 61
 - ・北海道立衛生研究所事業年報 平成22年度

北海道立総合研究機構 中央農業試験場

- ・平成24年 道央圏農業新技術発表会要旨

北海道立北方民族博物館

- 北海道立北方民族博物館資料目録 8 小谷文庫目録
- ・北海道立北方民族博物館研究紀要 第21号
- ・北方民族博物館だより No. 84、No. 85
- ・第27回特別展 東シベリア・サハ 永久凍土の大地に生きる
- ・北海道立北方民族博物館 第27回特別展図録 東シベリア・サハ 永久凍土の大地に生きる
- ・〔北海道立北方民族博物館〕平成23年度年報
- ・第26回北方民族文化シンポジウム報告書 環境変化と先住民の生業文化：陸域生態系における適応

北海道立文書館

- ・北海道立文書館所蔵資料目録22 近世幕末期・明治前期描画図資料目録

幕別町教育委員会

- ・幕別町ふるさと館 アイヌ民具資料目録

松前町教育委員会

- ・史跡 松前氏城跡 福山城跡Ⅷ

松本成美

- ・民衆史を掘る：歴史教育者協議会第33回全国大会
- ・現地見学のしおり

松本成美ほか

- ・コタンに生きる：アイヌ民衆の歴史と教育

水谷裕佳

- ・先住民バスクア・ヤキの米国編入：越境と認定 北大アイヌ・先住民研究センター叢書2

宮崎県総合博物館

- ・森の通信 第52号

未来社

- ・未来 544号～546、551

室蘭市教育委員会

- ・史跡東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡 史跡整備事業に伴う発掘調査報告書

盛岡市先人記念館

- ・盛岡市先人記念館だより No. 48

森田俊男

- ・森田俊男平和教育講座4 民族的権利の保障と平和教育

ヤイユーカラの森

- ・Yay Yukar Park 73、74

山川カ

- ・アイヌ民族文化史への試論

遊佐町教育委員会

- ・漁業王『青山留吉』の生涯

和歌山県立文書館

- ・和歌山県立文書館紀要 第15号

和合会

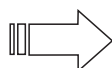
- ・八重垣 第47号

Arctic Studies Center, Smithsonian Institution

- ・Arctic Studies Center Newsletter No.19

Staatliches Museum für Völkerkunde München

- ・Die Ainu ; Porträt einer Kultur in Norden Japans



センターのホームページでは、寄贈を受けた資料のほか、購入した資料などについてもお知らせしています。

行事など

9月までに、次の行事がありました。どの行事にもたいへん多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました。

詳細は、センターのホームページでも紹介しています。

■「2012サイエンスパーク」

8月1日、地方独立行政法人北海道立総合研究機構と北海道の共催による「2012サイエンスパーク」が、札幌駅前通地下歩行空間（札幌市中央区）で開催され、当研究センターも参加しました。

展示ブースでは例年どおり、小学校中学年を主な対象としてアイヌの楽器「ムックリ」の鳴らし方の体験指導を行い、好評を博しました。



■企画展「アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から 2012・夏 斜里／知床」

2ページでもお知らせしたとおり、7～8月に斜里町で企画展を開催しました。

開催中のようすなど、詳しくは本紙2ページおよび当研究センターのホームページをご覧ください。

また、来年2月から、次の行事を開催します。

■企画展「アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から 2013・冬 網走／オホーツク」

夏の企画展「2012・夏 斜里／知床」の後、今年度は引き続き網走市にて「アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から 2013・冬 網走／オホーツク」を開催します。

会場：北方民族博物館
(網走市潮見309-1)

期間：2013年2月2日(土)
～4月7日(日)

詳しくは本誌2ページをご覧ください。

また、当研究センターのホームページにも随時情報を更新し掲載していきますので、併せてご覧ください。

平成24年度前半の動き

■人事短信

- ・3月31日付(退任)
所 長 泉 川 睦 雄
- ・4月1日付(就任)
所 長 中 村 亘
- ・4月1日付(転出)
副 所 長 原 浩 司
総務課主任 加 納 季 理
- ・4月1日付(転入)
副 所 長 須 貝 行 一

■行事・研修等

- ・全国地方教育史学会（千葉県市川市／5月／発表・小川）
- ・開拓記念館歴史講座（札幌市／6月／講師・小川）
- ・教育史学会第56回大会（東京都／9月／発表・小川）
- ・第6回伝統ポリフォニー国際シンポジウム（グルジア・トビリシ市／9月／発表・甲地）

センターの刊行物

平成24年4月から9月までに、この『センターだより』37号のほか、次の刊行物を発行しました。

- 「北海道立アイヌ民族文化研究センター年報2011（平成23年度）」（6月発行）
 - ・『年報』と『センターだより』は、当センターのホームページからもご覧いただけます。

- 企画展パンフレット「アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から 2012・夏 知床／斜里」（7月発行）
 - ・企画展図録は、会場で先着順に無料で配布しました。会期後は、研究センター閲覧コーナーにて残部を配布しています。

アイヌ民族文化研究センターだより No.37

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター
2012年9月28日

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1番地 緑苑ビル1F
(北海道庁緑苑ビル庁舎)

電話 011-272-8801(代) FAX 011-272-8850

月～金／9:00～17:00(土・日・祝日／休)

URL <http://ainu-center.pref.hokkaido.jp>

E-mail hacrc.1@pref.hokkaido.lg.jp

この広報紙は、環境に配慮した用紙を使用しています。